

科名 外科 外—58(a)

対象疾患 大腸癌(治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌)

プロトコール名 BEV+SOX

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	14	...	21	
1	点滴注	メイン	生理食塩水	500mL	ラインキープ 残破棄可	↓					
2	点滴注	側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて	↓					
			デキサート注	9.9mg							
			ガモファー注	20mg							
			ネオレスタール注	10mg							
			又は								
3	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて						
			デキサート	9.9mg							
			ガモファー注	20mg							
			ネオレスタール注	10mg							
4	点滴注	側管	ベバシズマブ注	7.5mg/Kg	医師の指示 通り	↓					
			生理食塩水	100mL							
5	点滴注	側管	オキサリプラチン注	130mg/m ²	2時間かけて	↓					
			5%ブドウ糖液	250mL又は500mL							
					ルートごと変更						
内服 S-1 1回40～60mgを1日2回 d1～d14投与、d15～d21は休薬											

★1クール＝21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2～4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

・S-1は 14日間投与、7日間休薬

・S-1は 体表面積(BSA) < 1.25m²: 40mg/回

1.25m² ≤ BSA < 1.5m²: 50mg/回

BSA ≥ 1.5m²: 60mg/回

・ オキサリプラチンは必ず5%ブドウ糖液で希釈。(薬効がおちる。)

・ オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。(現在は4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)

・ デキサートは6.6、9.9、13.2、19.8mgで選択可。

・ ベバシズマブは生食で希釈。(薬効が落ちる)

・ ベバシズマブは初回90分で点滴静注、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目は60分で

行ってもよい。2回目の忍容性も良好であれば、以降30分投与もできる。

大きな手術(開腹手術等)後28日以内には投与しないこと。